

アドバンス助産師(認定助産師)チェックリスト

受験者

他者評価者

医師評価者

評価:できた ○ 助言があつてできた△ できなかった × 該当なし N/A

サイン

項目	NO	内容	医師評価者				サイン		
			受験者	他者評価	医師	記録あり	助産師	医師	
入院前・入院時	1	入院時診察から、入院の可否、分娩経過予測を適切に判断(入院時の助産診断)ができています。							1)
		* 産婦の産科歴を考慮している。							同上
		* 産婦の妊娠経過を考慮している。							同上
		* 問診、理学所見、検査データから総合的に産婦健康度を判断出来ている。							
		* 入院時の適切な診断名をつけることができた。							
		* 胎児健康度の指標(CTG)から総合的に現在の健康度を判断できた。							
		* 産婦の分娩に対する予備能力を査定している。							
		* 母体の合併症に合わせた潜在的ニーズが考慮されている。							2)
		* 産婦の状態を総合的に判断し、ケアの優先順位がつけられる。							
2	入院時診断から分娩経過を考慮した助産計画(分娩援助方針)が立案できた。								
分娩各期共通	3	必要時、リーダー、他のスタッフ、医師等と情報共有(報告)し、カンファレンスが実施できた。							2)
		* 分娩の進行状況、陣痛、回旋、ビショップスコア等、他者を所見が一致している。							3)
		* 回旋、体位について超音波診断装置を利用できた。							
		* 胎児の健康度:CTG所見がガイドラインに基づいて判読できた。							4)
		* 胎児の健康度:羊水の変化がわかり、報告できた。							
		* 母体の健康度:バイタルサイン、精神状態、予備能力。							
		* 陣痛促進剤使用中に関する判断:陣痛、胎児心拍、点滴アップ、中止。							
	* 薬剤使用時のケア(使用目的、使用時の注意等を含む)。								
		* 必要に応じた検査依頼、医師への報告ができた。							
	4	CTG判読後のレベルに応じた対応ができる(報告、準備、援助)。							
5	分娩進行状況に合わせた分娩進行援助の選択と実施ができた。								
	* 栄養							5)	
	* 排泄								
	* 体位援助								
	* 活動								
	* 呼吸法、リラクゼーション								
	* 破水時、破水後								
* 精神状態									
6	家族の状況に合わせた支援が実施できた。								
	* 家族関係を意識しながら、各腎への役割への配所したケアができた。								
	* 異常時、産婦・家族の心理に配慮したケアができた。								

アドバンス助産師(認定助産師)チェックリスト

評価:できた ○ 助言があつてできた△ できなかった × 該当なし N/A

項目	NO	内容	受験者	他者評価	医師	記録あり	サイン		
							助産師	医師	
分娩第1	7	分娩各期の項目参照							
分娩第2期	8	第2期の進行を促進させる援助ができた。							
		* 陣痛の査定、腹圧の査定、児の大きさ、破水の有無。							
		* 必要時、人工破膜の安全な実施ができた。							
		* 体位の工夫、効果的な怒責の誘導。							
		* 陣痛、児頭の下降度に合わせた医療介入の必要性の判断。						6)	
		* 会陰の進展、保護ができた。							
		* 必要に応じた導尿、排便。							
	* 必要に応じた酸素投与。							7)	
	9	間接介助者との協働(自身が司令塔になっている)をスムーズにできる。							
		* 余裕を持って外陰部消毒・清潔野の作成ができた。							
		* 予測される事項への薬剤準備や機器の準備ができ、必要時、指示することができた。							
		* 必要時、間接介助者に適切な指示を出すことができる。(必要以上に他者の援助がないこと)							
		* 吸引分娩、鉗子分娩時の間接介助者に適切な指示を出すことができた。							
* 緊急帝王切開時、チームメンバーに適切な指示を出すことができた。									
10	* 新生児科医師の立ち合い要請の可否判断ができ、適切な指示を出すことができた。								
	<b>会陰切開時の切開創以上に母体損傷させることなく娩出介助できた。</b> 注) 緊急時や巨大児等はこの限りでない								
分娩第3期	11	<b>新生児の出生時状況に合わせて、新生児蘇生法等の実施ができた。</b>							
		* 臍帯巻絡時、短い臍帯の際に速やかに処置できた。							
		* 児の状態に合わせた臍帯切断ができた。							
	12	<b>第3期の進行を判断できた。</b>							
		* 胎盤剥離徴候を判断し、速やかに処置できた。							
		* 胎盤隔離徴候を認めない場合、適切な介入ができた。							
		* 用手剥離時の管理(出血状況、介助、産婦支援、バイタルサイン)を含む)ができた。							
分娩	13	<b>第4期の異常の有無を査定し、適切な対応ができた。</b>							
		* 子宮収縮状態を観察し、子宮収縮促進、出血に対しての対応できた。							
		* 異常出血時、出血量のカウントの報告ができ、速やかに産婦への援助が対応できた。							
		* 産道損傷の有無を確認できる。(異常出血がない場合には、医師の指導の下、縫合前と第4期観察時に実施する)							
		* 間接介助者に必要時、適切な指示を出すことができた。							
		* 必要な薬剤投与が医師の指示の下、観察を行ない、投与できた。							

アドバンス助産師(認定助産師)チェックリスト

評価:できた ○ 助言があってできた△ できなかった × 該当なし N/A

項目	NO	内容						サイン	
			受験者	他者評価	医師	記録あり	助産師	医師	
第4期		* 頸管裂傷時の管理(縫合介助含む)ができた。							
		* 膣壁深部裂傷時の管理(縫合介助含む)ができた。							
		* 血腫形成の有無を判断し、適切な対応ができた。							
		* 子宮収縮を妨げる原因を判断し、適切な処置ができた。							
		* 観察時の異常出血の判断、子宮収縮状態の観察ができ、報告できた。							
		* 初回歩行について査定を行い、褥婦にあった援助ができた。							
14		* 分娩中のカルテ・パルトグラム記載がon timeで行えた。							